

# 道内の感染状況等について (案)

【令和4年2月15日】

# 主な指標の状況

2/14	レベル	移行指標				その他指標		
		病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
全道	2	38.4% (792床) ↑	6.0% (8床) ↑	430.1人/週 (22490人/週) ↓	589.6人 (30828人) ↑	0.95 ↓	64.5% ↓	38.8% ↑
	2	42.0% (261床) ↑	11.1% (5床) ↑	574.2人/週 (11264人/週) ↓	681.5人 (13368人) ↓	0.85 ↓	85.4% ↓	44.5% ↑
	2	36.8% (531床) ↑	3.4% (3床) ↑	343.6人/週 (11226人/週) ↑	534.4人 (17460人) ↑	1.06 ↑	43.5% ↓	34.4% ↑

レベル2 移行指標	20% <input type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> 20%	15人/週	20人
レベル3 移行指標	50% <input type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> 50%	—	—

※( )は実数。

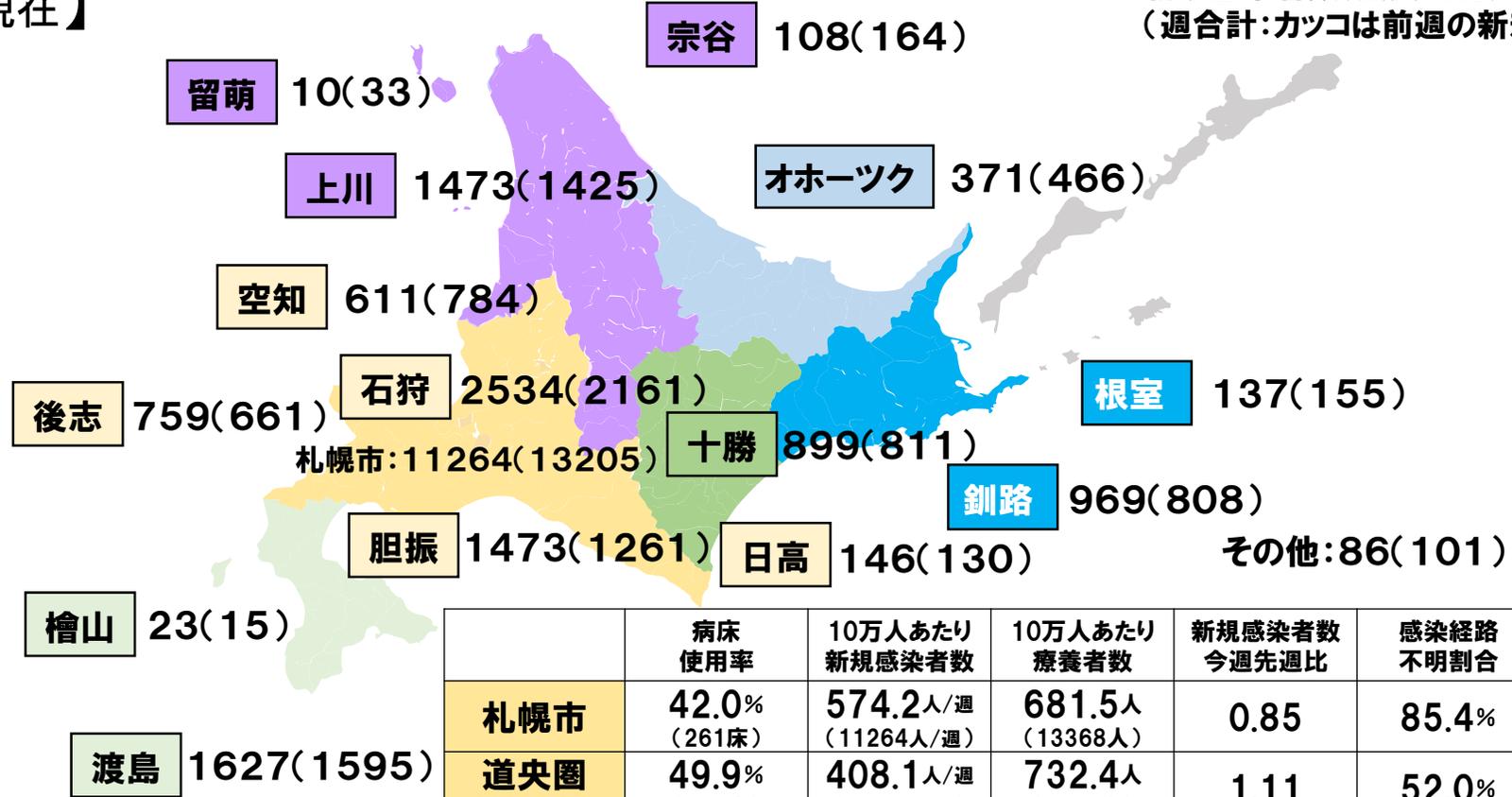
※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

※現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は増加する傾向がある。

# 地域における主な指標の状況

【2/14現在】

新規感染者数(振興局別)  
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



	病床 使用率	10万人あたり 新規感染者数	10万人あたり 療養者数	新規感染者数 今週先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
札幌市	42.0% (261床)	574.2人/週 (11264人/週)	681.5人 (13368人)	0.85	85.4%	44.5%
道央圏 (札幌市除く)	49.9% (228床)	408.1人/週 (5523人/週)	732.4人 (9913人)	1.11	52.0%	36.9%
道北圏	36.0% (109床)	269.5人/週 (1591人/週)	396.3人 (2339人)	0.98	34.5%	20.2%
道南圏	27.4% (57床)	394.7人/週 (1650人/週)	648.2人 (2710人)	1.02	25.0%	42.4%
十勝圏	40.7% (61床)	268.6人/週 (899人/週)	306.5人 (1026人)	1.11	50.6%	35.7%
オホーツク圏	14.5% (17床)	135.6人/週 (371人/週)	155.6人 (426人)	0.80	38.5%	35.4%
釧路・ 根室圏	28.4% (59床)	372.4人/週 (1106人/週)	352.2人 (1046人)	1.15	36.4%	59.9%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

# 総 評

## 【医療提供体制】

- 全道の病床使用率は38.4%と増加が続いている。札幌市及び札幌市以外の地域のいずれも増加傾向が継続。重症患者数も徐々に増加。また、全道各地で医療機関等での集団感染の確認が続いている。

## 【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、今週先週比が1を下回ったものの、依然、高い水準にある。札幌市で今週先週比が1を下回り、札幌市以外の地域で増加傾向が継続。
- 30代以下の感染者数の減少が見られ始める一方、60代以上の感染者数は増加が続いている。
- 札幌市内の夜間の人流は、まん延防止等重点措置の適用前と比べて減少。

## 【今後の対策】

- 引き続き、まん延防止等重点措置の下、全道において、感染リスクが高まる場面などにおける感染防止行動の徹底を図る。また、学校や保育所、高齢者施設等における対策を徹底する。
- 治療が必要な方を確実に医療機関につなげられるよう、重症化リスクの高い方への健康観察や医療提供を重点的に取り組む。
- ワクチンについては、11日から接種を開始した道の集団接種会場の活用を含め、市町村による接種や職域接種を支援し、高齢者等への追加接種の加速化に向け取り組む。
- 新規感染者数は1日2千人を超える日が続くなど、依然、高い水準で推移している。また、病床使用率は増加が続いており、国の専門家によると今後もその負荷は高まるとの懸念も示されている。こうした状況を踏まえ、新規感染者数を減少に転じさせ、これ以上の医療の負荷を抑えていくため、2月20日までとなっているまん延防止等重点措置の延長について、国へ要請する。

# 入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

病床使用率

1,400  
1,200  
1,000  
800  
600  
400  
200  
0

100%  
90%  
80%  
70%  
60%  
50%  
40%  
30%  
20%  
10%  
0%

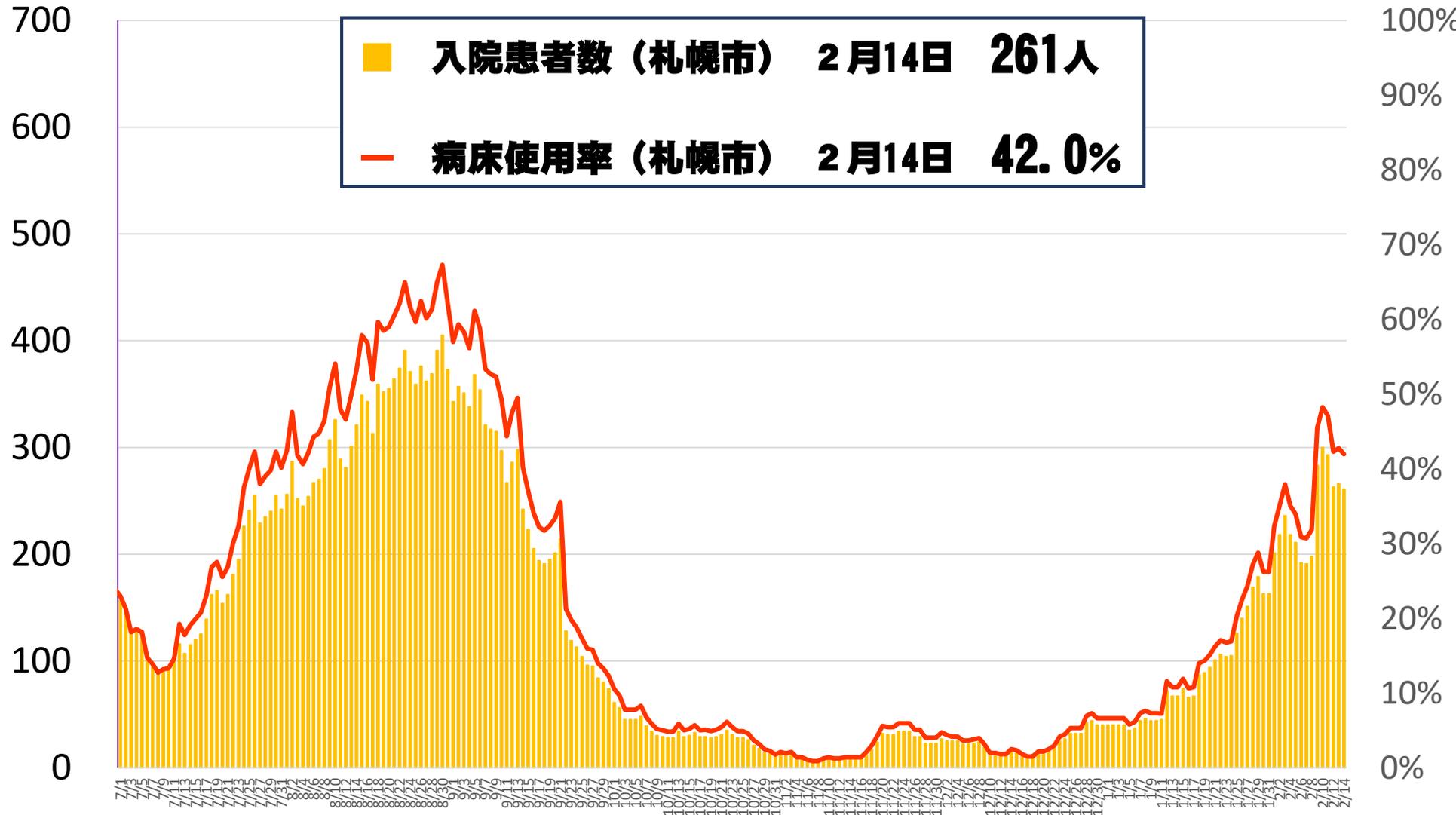
■ 入院患者数（全道） 2月14日 792人  
— 病床使用率（全道） 2月14日 38.4%



# 入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



# 入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

700

600

500

400

300

200

100

0

■ **入院患者数（札幌市を除く地域）** 2月14日 **531人**  
— **病床使用率（札幌市を除く地域）** 2月14日 **36.8%**

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

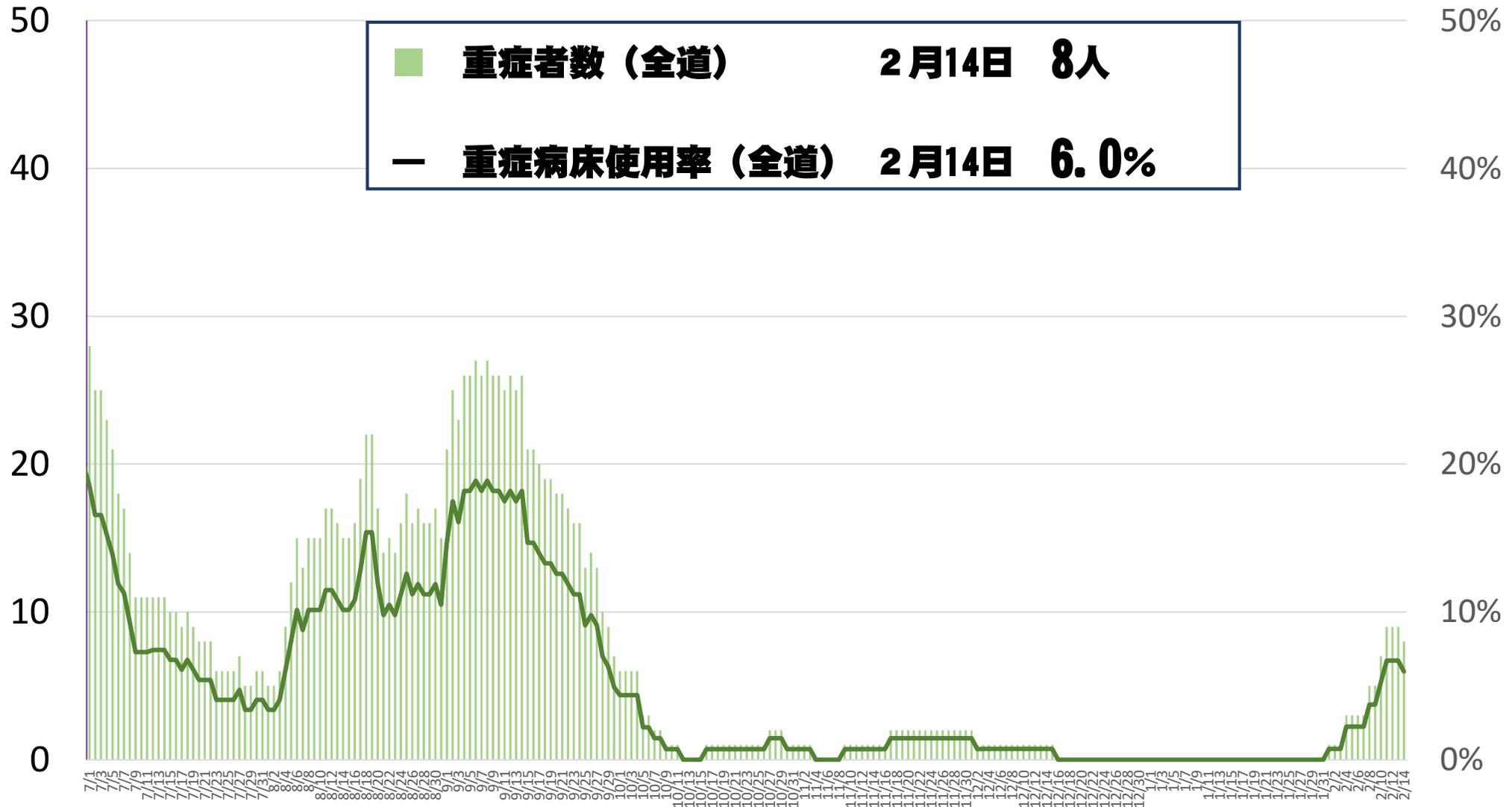
0%

2022年1月1日 2022年1月15日 2022年1月31日 2022年2月14日

# 重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

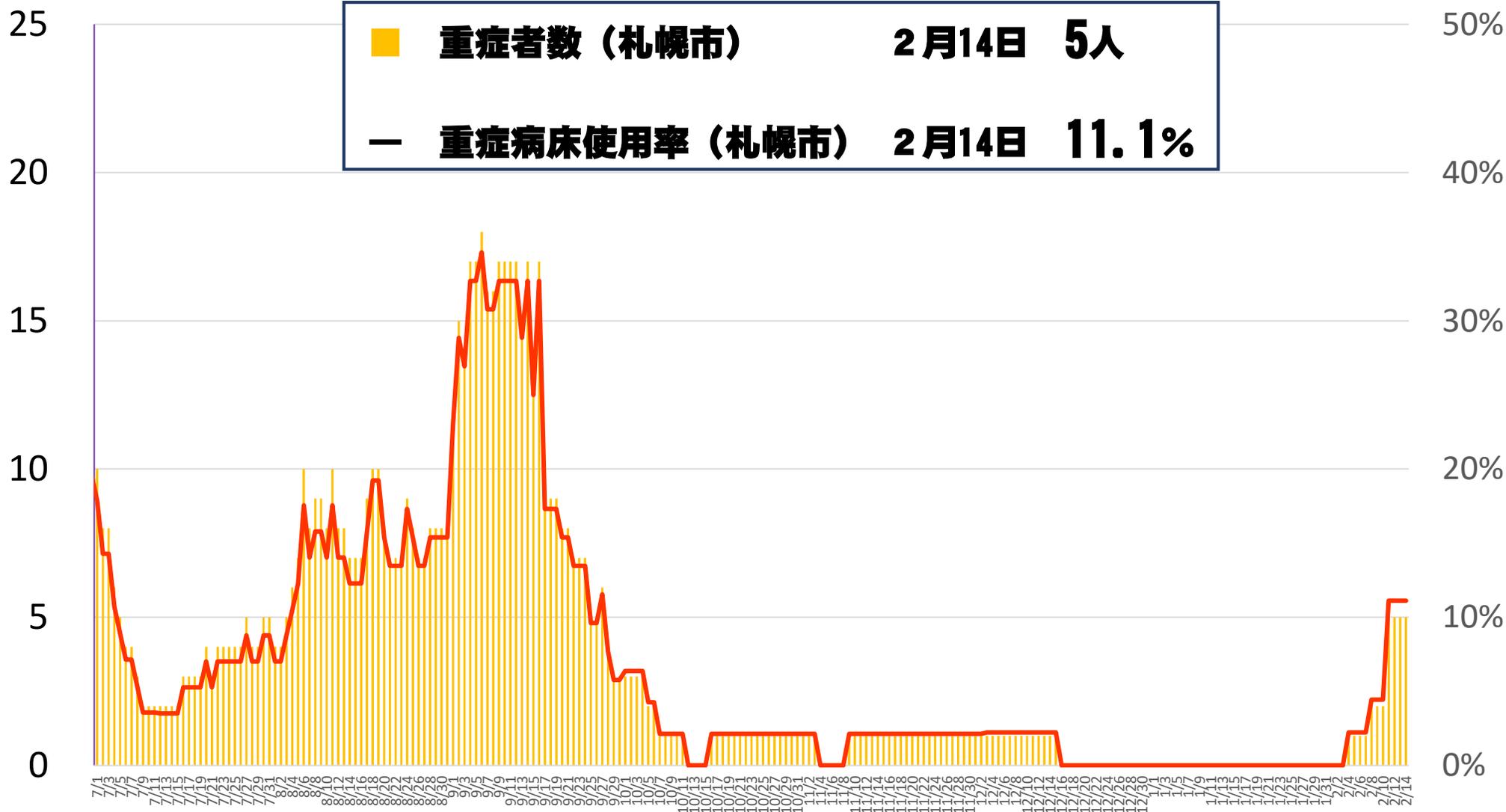
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

病床使用率





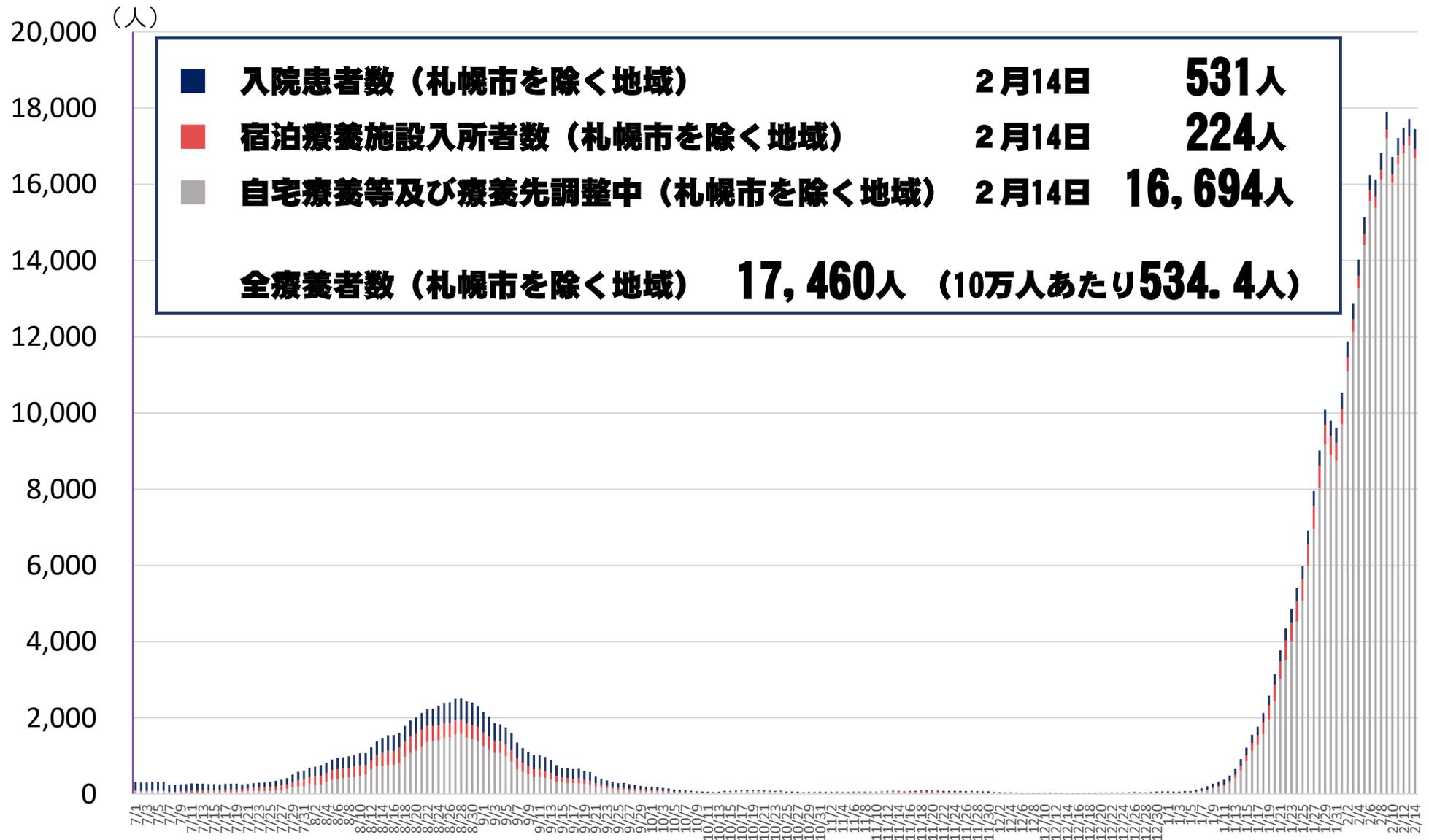


# 療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

# 療養者数（札幌市を除く地域）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

# 新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数  
(7日間合計)

感染経路不明割合  
(7日間平均)

30,000  
(人)  
28,000  
26,000  
24,000  
22,000  
20,000  
18,000  
16,000  
14,000  
12,000  
10,000  
8,000  
6,000  
4,000  
2,000  
0



100%  
90%  
80%  
70%  
60%  
50%  
40%  
30%  
20%  
10%  
0%

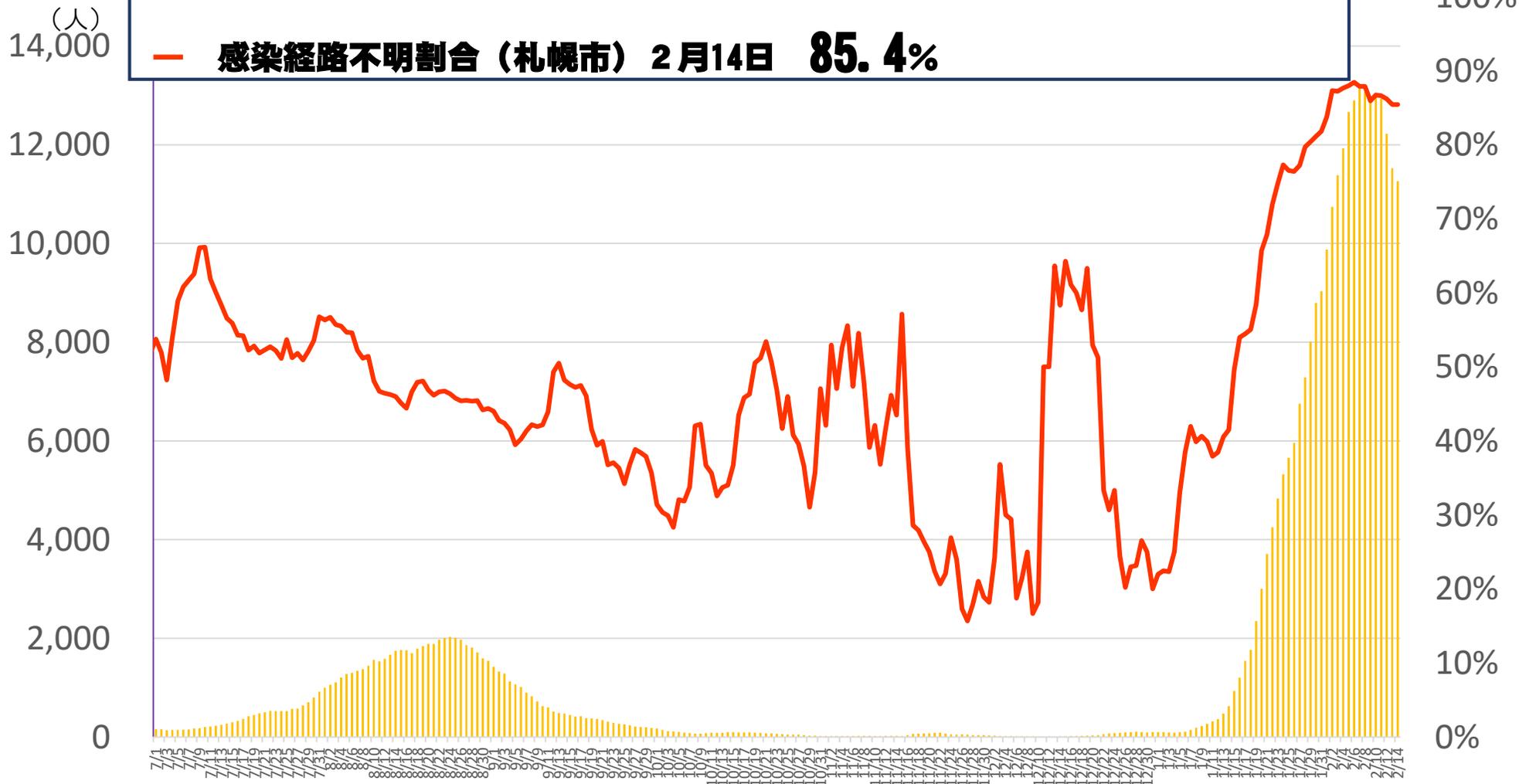
# 新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数  
(7日間合計)

■ **新規感染者数（札幌市） 2月14日 11,264人（10万人あたり574.2人）**

— **感染経路不明割合（札幌市） 2月14日 85.4%**

感染経路不明割合  
(7日間平均)



# 新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

新規感染者数  
(7日間合計)

感染経路不明割合  
(7日間平均)

■ **新規感染者数（札幌市を除く地域） 2月14日 11,226人（10万人あたり343.6人）**  
— **感染経路不明割合（札幌市を除く地域） 2月14日 43.5%**



# 検査数と陽性率（全道）

検査数  
(7日間合計)  
80,000  
(人)

70,000

60,000

50,000

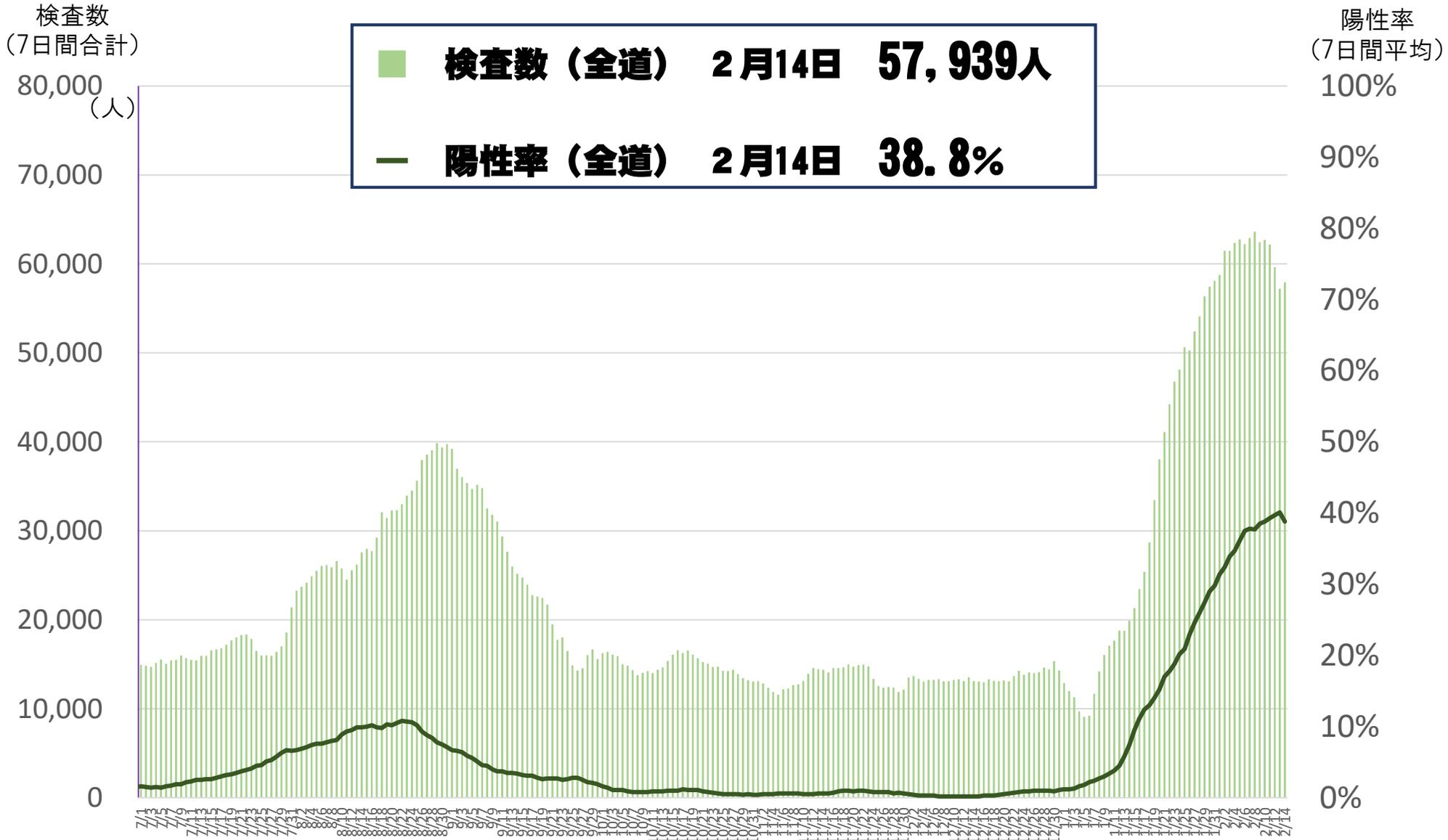
40,000

30,000

20,000

10,000

0



陽性率  
(7日間平均)  
100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

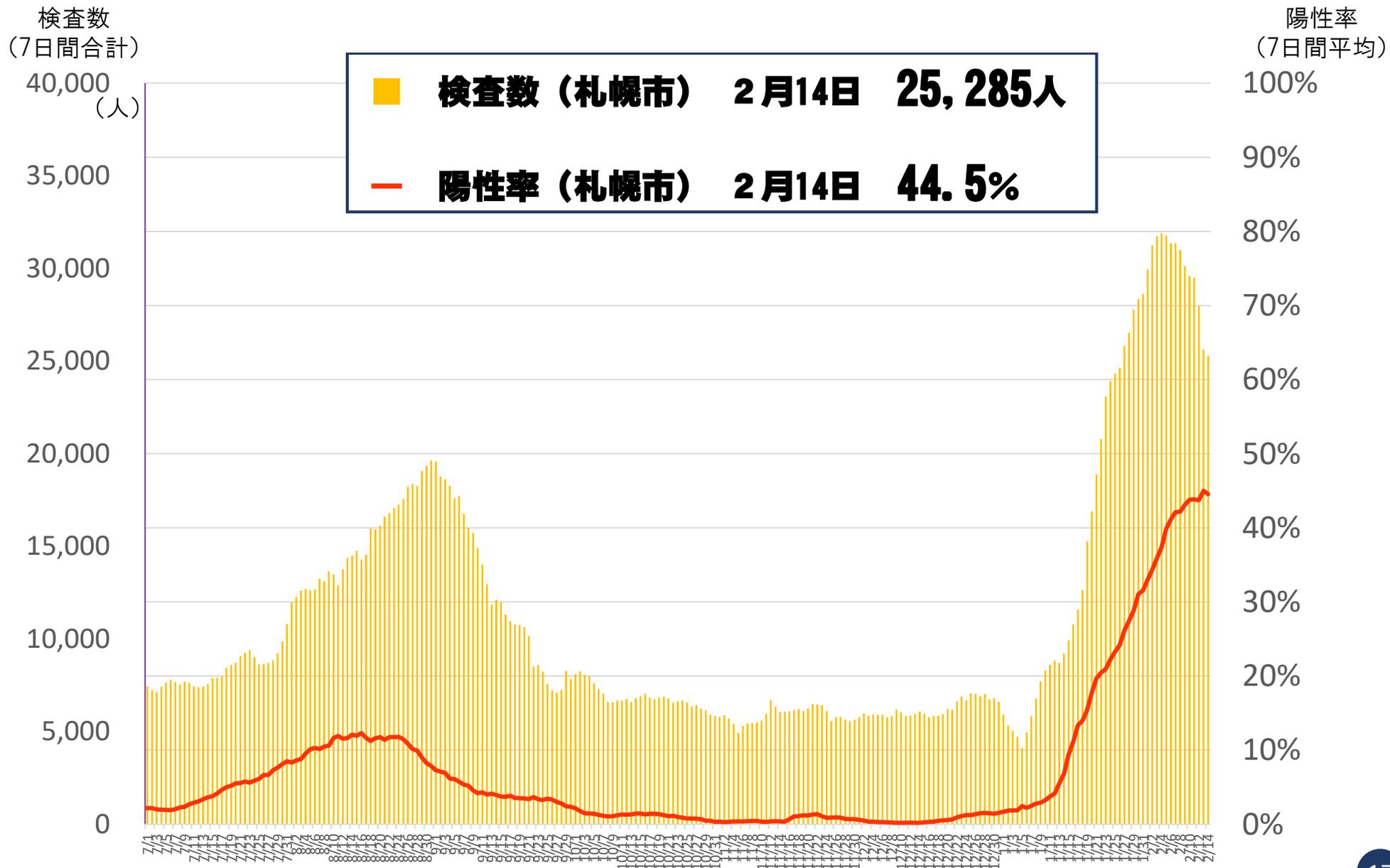
30%

20%

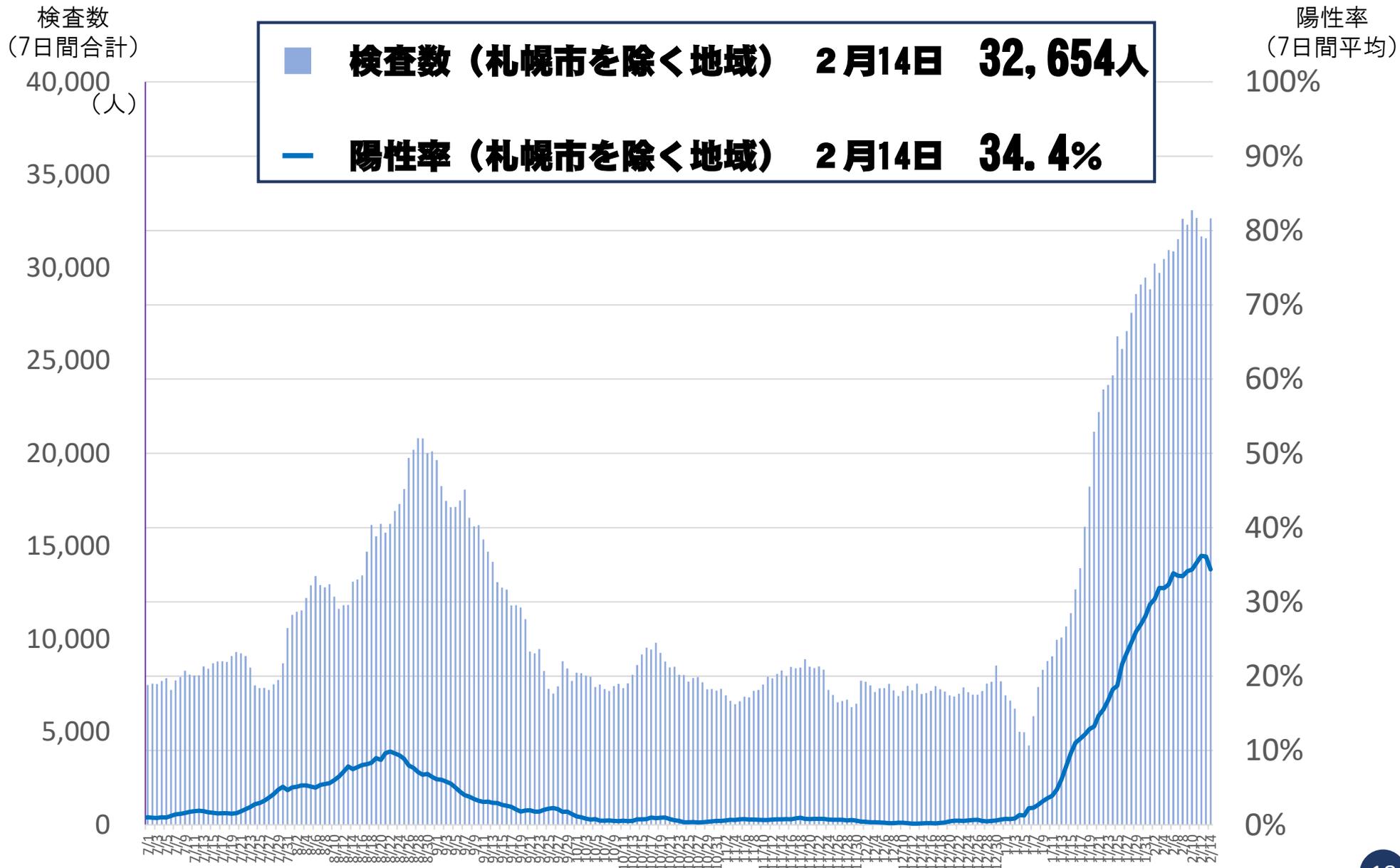
10%

0%

# 検査数と陽性率（札幌市）



# 検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



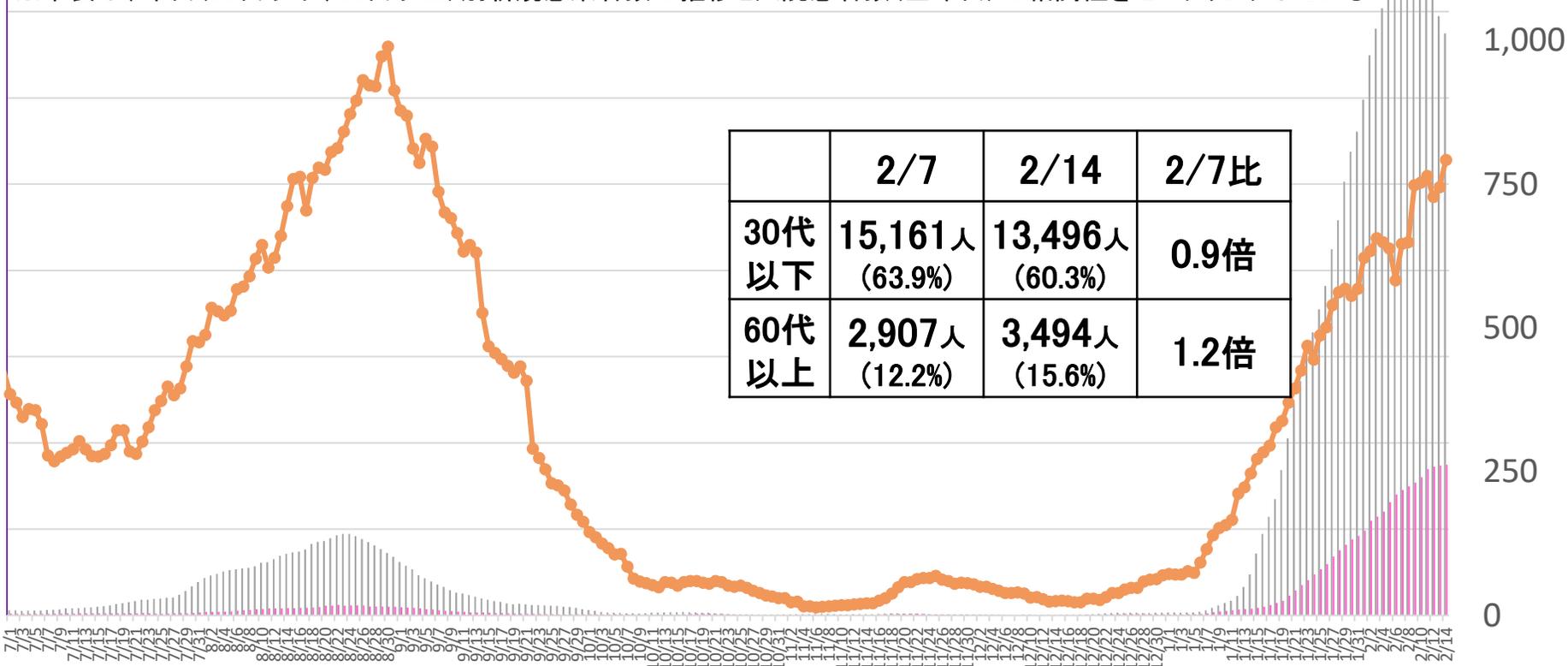
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

入院患者数  
(人)

■	<b>30代以下の新規感染者数(全道)</b>	<b>2月14日</b>	<b>13,496人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数(全道)</b>	<b>2月14日</b>	<b>3,494人</b>
—	<b>入院患者数(全道)</b>	<b>2月14日</b>	<b>792人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数  
(7日間合計)

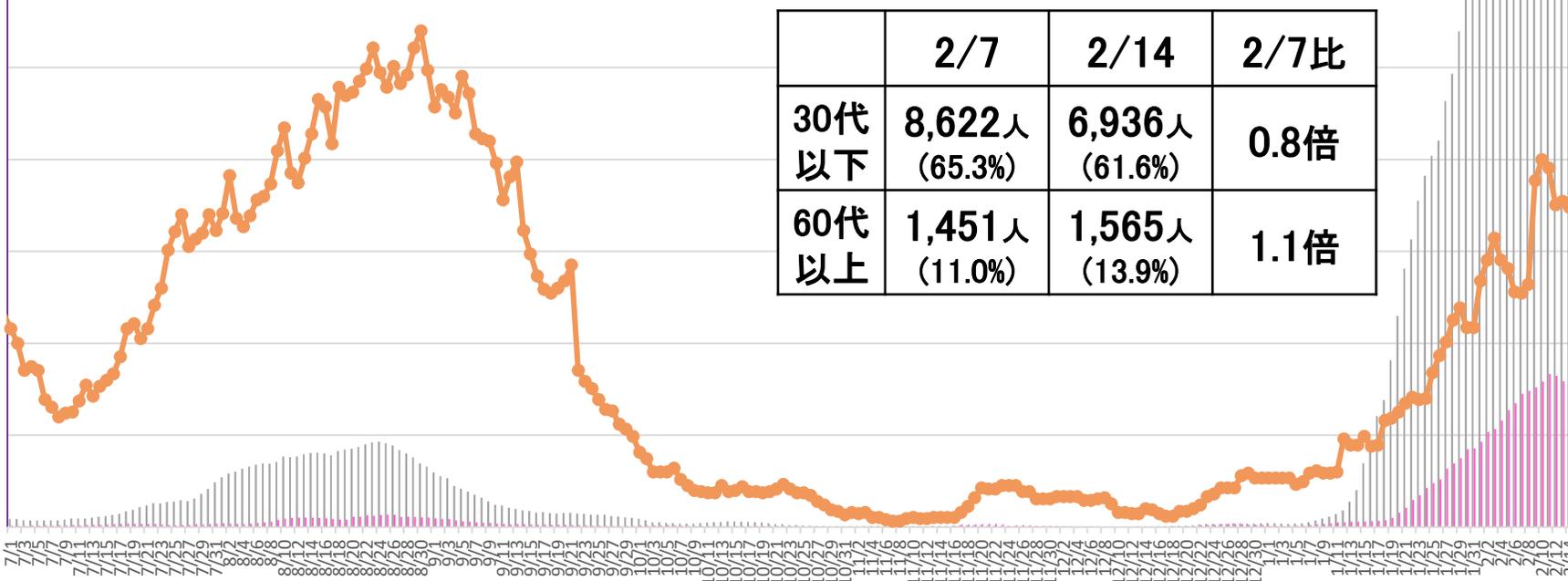
入院患者数

10,000  
(人)

(人)

■	<b>30代以下の新規感染者数 (札幌市)</b>	<b>2月14日</b>	<b>6,936人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数 (札幌市)</b>	<b>2月14日</b>	<b>1,565人</b>
—	<b>入院患者数 (札幌市)</b>	<b>2月14日</b>	<b>261人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

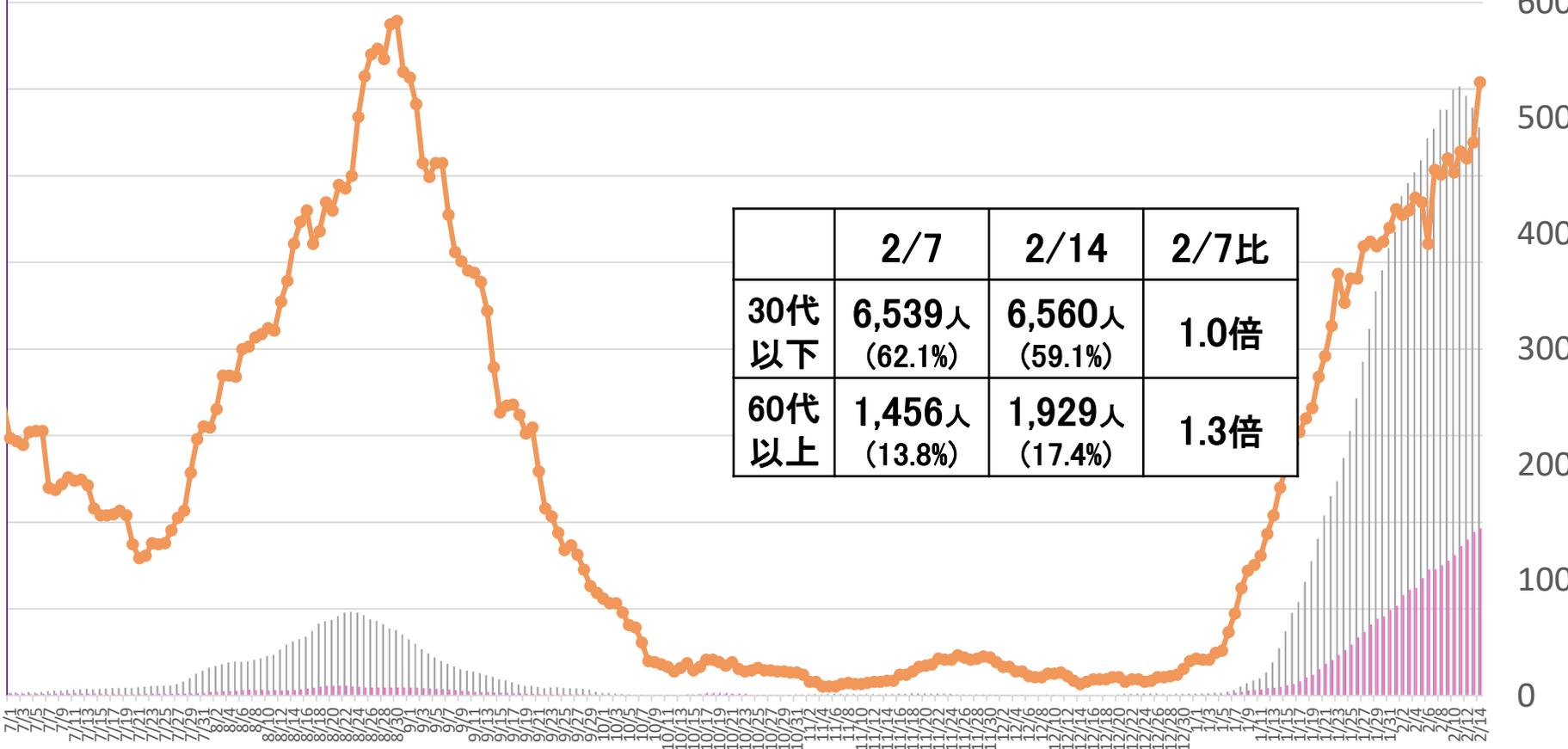
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数  
(7日間合計)  
10,000  
(人)

入院患者数  
(人)  
700

■	<b>30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)</b>	<b>2月14日</b>	<b>6,560人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)</b>	<b>2月14日</b>	<b>1,929人</b>
—	<b>入院患者数 (札幌市を除く地域)</b>	<b>2月14日</b>	<b>531人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

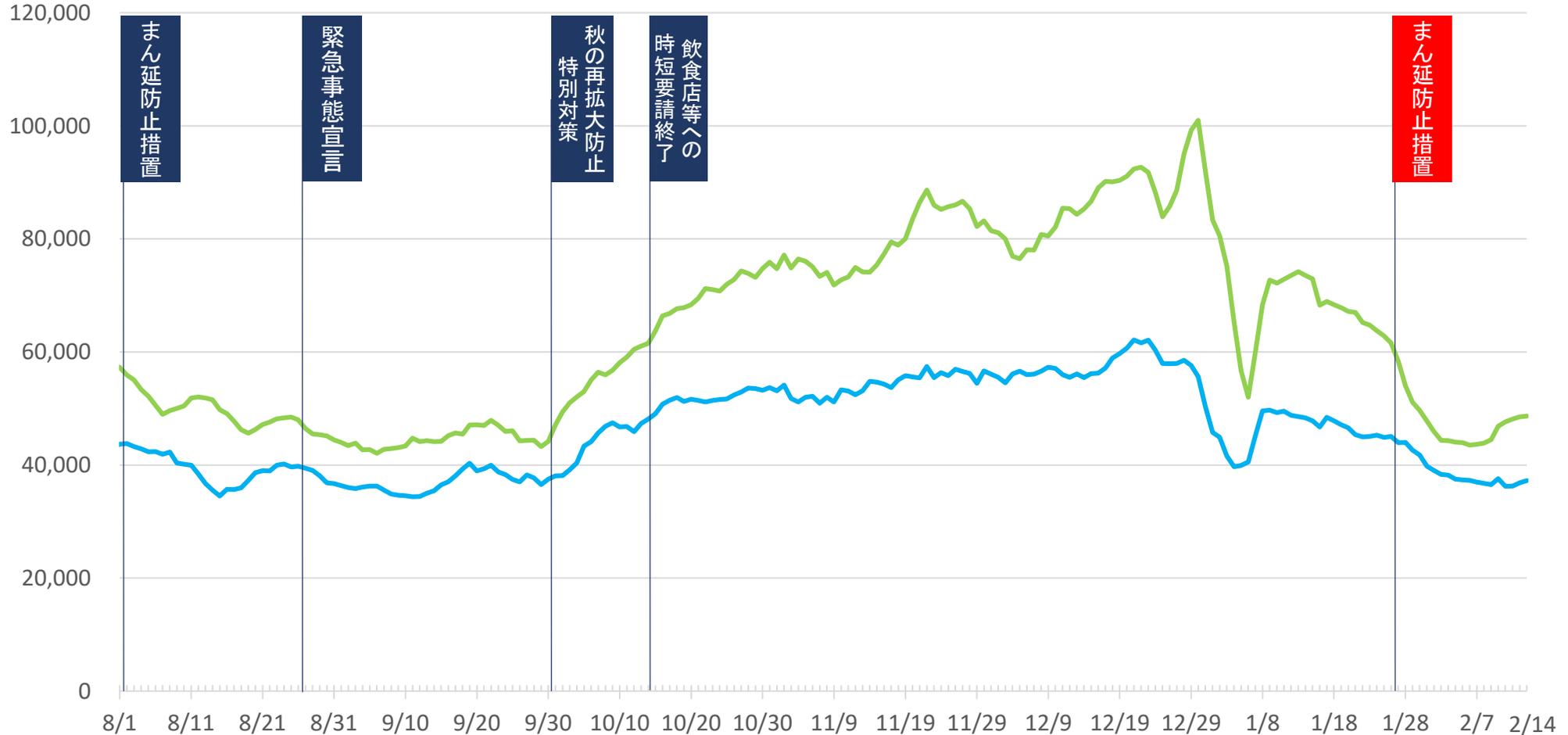
	1/25~31			2/1~7			2/8~14		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設	14件 (456人)	4件 (78人)	10件 (378人)	25件 (536人)	13件 (252人)	12件 (284人)	23件 (374人)	8件 (116人)	15件 (258人)
福祉施設	19件 (445人)	5件 (192人)	14件 (253人)	37件 (694人)	16件 (246人)	21件 (448人)	55件 (708人)	26件 (357人)	29件 (351人)
合 計	33件 (901人)	9件 (270人)	24件 (631人)	62件 (1230人)	29件 (498人)	33件 (732人)	78件 (1082人)	34件 (473人)	44件 (609人)

# 札幌市の人出(札幌駅、すすきの駅・21時)

— すすきの駅 (7日間移動平均)

— 札幌駅 (7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



	札幌駅					すすきの駅				
	適用前		適用後(19日目)			適用前		適用後(19日目)		
前回のまん延防止等重点措置(8/2~8/26)	8/1	43,686	8/20	38,634	▲11.6%	8/1	57,277	8/20	46,289	▲19.2%
今回のまん延防止等重点措置(1/27~)	1/26	45,043	2/14	37,235	▲17.3%	1/26	61,626	2/14	48,674	▲21.0%

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

## 1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。2/13現在)

### <追加(3回目)接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	412,493	7.9%
(参考) 全国	11,931,063	9.4%

### <初回(1・2回目)接種の状況>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,223,813	80.8%	4,154,103	79.4%
(参考) 全国	101,452,107	80.1%	99,905,526	78.9%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力 of 職域接種分は含まない。また、初回接種における医療従事者等及び追加接種の全国分接種者数は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 2 追加(3回目)接種等について

- 道医師会や札幌大等と連携・協力の下、2月11日から、道内市町村が発行した追加接種用の接種券をお持ちの18歳以上の方を対象に、3月までの土曜・日曜・祝日に道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」(札幌市厚別区)を開設。

[2/19、20、23(計3日間)の予約状況]

予約枠 1,080件 に対し 1,080件受付、予約率 100.0%(2月15日14時現在)

[2/11～13(計3日間)の接種実績]

予約枠 960件 に対し 958回接種、接種率 99.8%

※ワクチンや接種能力の有効活用の観点から、道警職員や道の危機管理部門の職員等へ接種した分を含む。

- 2月7日に岸田総理が、2月のできるだけ早期に、1日100万回(接種)までペースアップすることを目指すことを表明したことなどを踏まえ、道としても、「北海道ワクチン接種センター」における接種や、モデルナ社製ワクチンの積極的な活用を含めた交互接種への理解促進に努めるなど、本格化している高齢者等への接種の加速化に向け、市町村と連携し取り組む。
- 職域追加接種については、昨年12月13日から国において受付開始。道内では2月14日時点で85件の申請があった。首都圏の一部企業では2月12日から接種が始まったが、道内でも、今月下旬以降に順次接種が開始される見込み。道としても、引き続き、制度拡充等に関する国への要望や、1会場当たりの実施要件の緩和(500人以上)等を踏まえ、各種情報提供などを含めた実施企業等の支援に努める。
- 新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、本年9月30日まで初回(1・2回目)接種が引き続き可能。オミクロン株の感染拡大を踏まえ、岸田総理会見や厚労省のアドバイザリーボードでも、未接種の方へのワクチン接種が勧奨されていることなどから、今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 3 小児(5歳以上11歳以下)への接種等について

- 5歳以上11歳以下の小児への接種について、2月10日の国の審議会で、予防接種法に基づく特例臨時接種に位置づけることが了承され、今後、2月下旬以降に接種開始できるよう、関係法令等が改正される見込み。

※以下の内容は、国における関係政省令公布・施行前のため、国審議会や過去の自治体向け説明会資料等をもとに作成。

対象者	5歳以上11歳以下の小児 ※道内対象者は約28万人、接種には保護者の同意と立ち会いが必要
使用ワクチンと接種間隔	小児用ファイザー社製ワクチン(販売名:「コミナティ筋注5~11歳用」) (12歳以上の1/3の量を3週間間隔で2回接種。11歳で1回目を接種した方が2回目の接種時に12歳になっている場合には、小児用ワクチンを使用) ※道内には、当面、2月下旬から3月下旬までの間に約11万回分が供給予定。
接種期間	令和4年2月下旬(予定)~9月30日
費用負担等	・ 予防接種法上の特例臨時接種として、公費で負担(本人等の接種費用は無料) ・ 公的関与については、予防接種法上の「接種勧奨」の規定は適用するものの、「努力義務」の規定は適用しないこととされた

道としては、引き続き国の動向について市町村等と情報共有を図るとともに、医師会や小児科医会などの関係団体との情報共有のほか、各市町村における対応の検討状況等を踏まえ、地域の実情に沿った体制構築に向け、引き続き、市町村の取組を支援する。

また、ワクチン接種の有効性や副反応などについて、これまで以上に接種対象者や保護者の皆様にご理解をいただくことが重要であり、国の責任において国民的な理解の促進に努めるよう要望するとともに、道としても、市町村とも連携し丁寧な情報発信に努める。

〔※ この他、2月10日の国審議会では、最新の科学的知見を踏まえ、これまで新型コロナウイルスワクチン接種の努力義務が適用除外されていた妊娠中の方に対し、努力義務を適用することとされた。〕